

令和 5 年度上下水道事業会計 予算の編成について

宇都宮市上下水道局

I	令和5年度予算（案）について	3
1	当初予算編成の考え方	
2	令和5年度当初予算の概要	
II	水道事業会計の予算（案）概要	5
III	下水道事業会計の予算（案）概要	8
IV	収支予定額	11

I 令和5年度予算（案）について

1 当初予算編成の考え方

令和5年度については「第2次宇都宮市上下水道基本計画改定計画」の初年度となることから、アセットマネジメントによる中長期的な視点のもと、「スーパースマートシティ」の土台となる「NCC」の形成に向け、市民生活を支える上下水道事業として「災害に強い安全で安心なライフラインの確保」や「施設の適正な維持管理」に取り組むとともに、AI等の先進技術の導入による業務の効率化に取り組むなど、事業の優先化・重点化を図った予算を編成した。

(1) 災害対策

大規模災害時に備えた基幹施設・基幹管路等の耐震化や、市街地における浸水被害の軽減を図る雨水対策等を推進することにより、災害に強い安全で安心なライフラインを確保する。

(2) 老朽化対策

老朽化した上下水道施設や管路について、施設の重要度や劣化による影響などのリスクと中長期的な更新需要や財政収支バランスを考慮しながら計画的な更新や適正な維持管理に取り組む。

(3) DX・カーボン ニュートラル

業務の効率化と顧客サービスの向上を図るDXの推進やカーボンニュートラルの実現に向けた施策・事業などの取組を優先的・重点的に推進していく。

(4) 健全な経営の推進

市民生活に不可欠なライフライン維持のため、財政計画や経営分析のもと経営の効率化に努めるとともに、企業債の効果的活用や料金等収入の適切な確保などにより経営基盤の強化に努める。

I 令和5年度予算（案）について

2 令和5年度当初予算の概要 〈 〉内は対前年度

① 企業会計（水道・下水道事業）当初予算規模

【水道事業】 206億5,969万円 〈+4億9,458万円〉

【下水道事業】 283億7,654万円 〈+10億402万円〉

② 水道料金・下水道使用料は、新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に増加していた一般家庭の使用水量が減少傾向にあることから微減の見込み

【水道事業】 (R4) 103.2億円

→ (R5) 101.8億円 〈△1.4億円〉

【下水道事業】 (R4) 86.9億円

→ (R5) 86.0億円 〈△0.9億円〉

③ 建設改良事業は、アセットマネジメント（資産管理）に基づき計画的に実施

【水道事業】 (R4) 79.5億円

→ (R5) 82.6億円 〈+3.1億円〉

【下水道事業】 (R4) 70.2億円

→ (R5) 74.4億円 〈+4.2億円〉

II 水道事業会計の予算（案）概要

○ 主な実施事業

◆ 災害対策 45百万円（前年度337百万円）

「宇都宮市水道施設耐震化計画」に基づき、災害発生時においても被害を最小限にとどめ、一定の配水機能を維持するため、基幹施設・基幹管路の耐震化を推進し、安全で安心なライフラインを確保する。

○ 施設耐震化事業

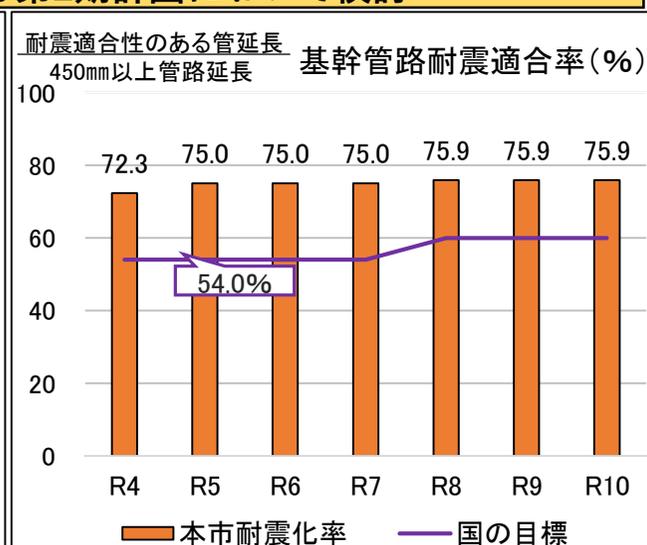
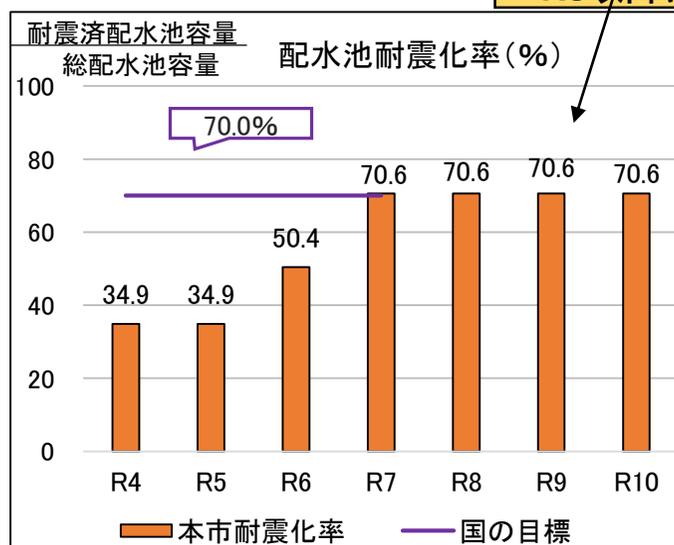
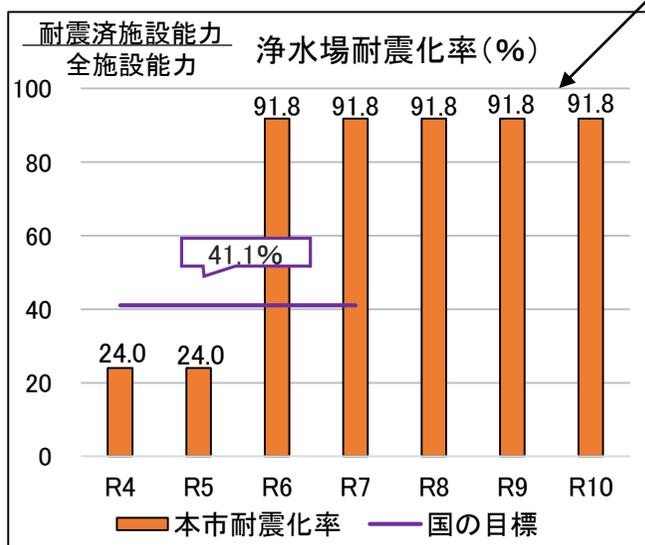
松田新田浄水場急速ろ過池耐震化工事など 《浄水場耐震化率：R6⇒91.8%》
《配水池耐震化率：R7⇒70.6%》

○ 管路耐震化事業

白沢浄水場導水管耐震化実施設計業務委託など 《基幹管路耐震化率：R8⇒75.9%》

※今市浄水場の耐震化完了（R17）に伴い99%達成予定

※第1期耐震化計画に基づきR7に国の目標達成
R8以降は第2期計画において検討



II 水道事業会計の予算（案）概要

○ 主な実施事業

◆ 老朽化対策 6, 7 1 2 百万円（前年度 6, 5 0 8 百万円）

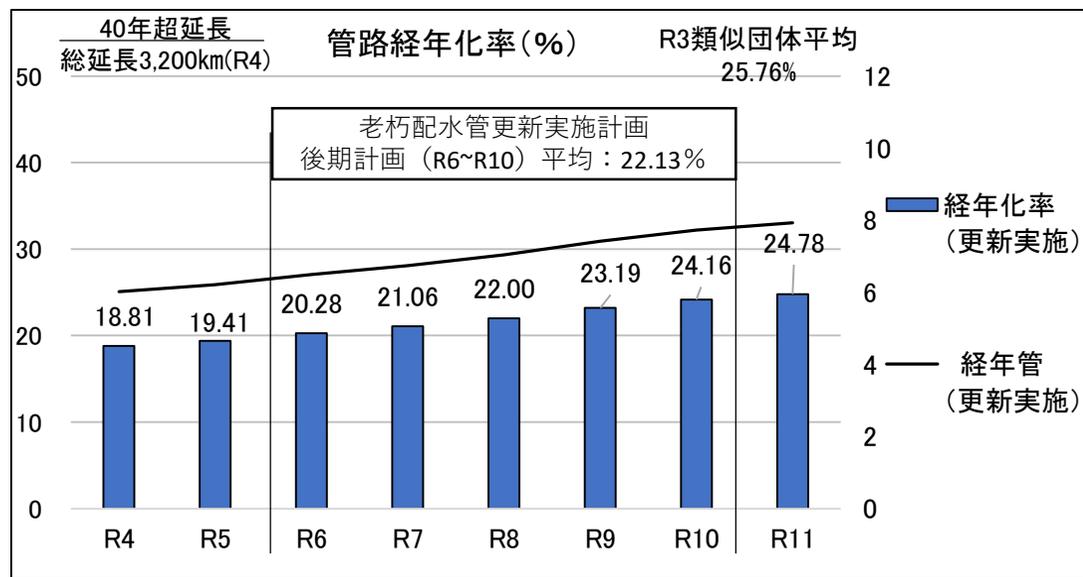
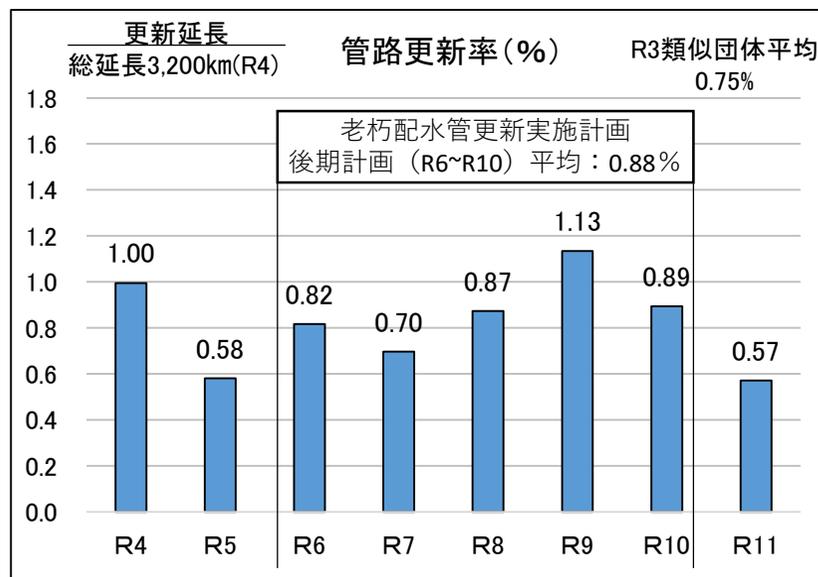
- ・「宇都宮市水道施設更新・長寿命化実施計画」および「老朽配水管更新実施計画」に基づき、持続可能な水道事業を実現するため、老朽化が進行している水道施設の計画的な改築・更新を推進する。
- ・将来の更新ピークに備え、事業の平準化などを検討しながら推進する。
- ・また、今市浄水場の老朽化を踏まえ、将来的にも安定供給を持続していくため、更新を実施することにより併せて耐震化を図る。

○ 管路更新事業 4, 4 6 4 百万円

老朽管更新工事（23件，18，570m）ほか

○ 施設更新事業 2, 2 4 8 百万円

松田新田浄水場薬品注入設備等更新工事，今市浄水場天日乾燥床更新工事 ほか



II 水道事業会計の予算（案）概要

○ 主な実施事業

◆ DX関連 29百万円（前年度0円）

取り巻く環境の変化を捉えながらICTを活用した利便性の高いサービスの導入等お客様ニーズを的確に反映した事業を展開する。

- ICT事業 29百万円 ICT化（【新】水道管路AI劣化診断業務(実証実験)など）
業務効率化（【新】印刷機器，電子機器の複合機化など）
（【拡】ネット銀行を収納取扱金融機関として指定）

◆ カーボンニュートラル関連 66百万円（前年度0円）

再生可能エネルギー及び上下水道資源の有効活用や節電など，環境に配慮した取組を行い，環境負荷低減を推進する。

- 省エネ事業 66百万円 【新】施設のLED化など

◆ 外部委託関連 455百万円（前年度329百万円）

外部委託など事業者と連携した効率的な事業運営に取り組み，計画的に財源を確保しながら持続可能な経営を推進する。

- 検針・徴収等包括委託 391百万円（【拡】包括委託の導入効果 R5~9 △59百万円）
- 新料金システム構築業務委託 64百万円（【拡】新料金システム導入効果 R5~9 △31百万円）

◆ おいしい水関連 7百万円（前年度7百万円）

R4年度に認定申請を行ったモンドセレクション等について，「安全でおいしい水道水」として積極的に広報するなど，興味・関心を高めるための事業に取り組む。

- 広報広聴事業 7百万円 【新】駅東口交流拠点施設給水器用マイボトルの作成
【新】モンドセレクション認定ラベル作成 など

III 下水道事業会計の予算（案）概要

○ 主な実施事業

◆ 災害対策 1, 676百万円（前年度1, 623百万円）

「宇都宮市下水道施設耐震化実施計画」及び「宇都宮市総合治水・雨水対策推進計画」などに基づき、施設及び管渠の耐震化や、近年頻発する局所的な豪雨による浸水被害を軽減するため雨水対策事業を実施する。

○ 施設耐震化事業 125百万円

川田水再生センター強靱化事業など 《中継ポンプ場耐震化率：R7 ⇒ 43%》

○ 管渠耐震化事業 271百万円

緊急輸送路管渠耐震化工事など 《重要幹線耐震化率：R5 ⇒ 69.8%》

○ 雨水対策事業 1,280百万円

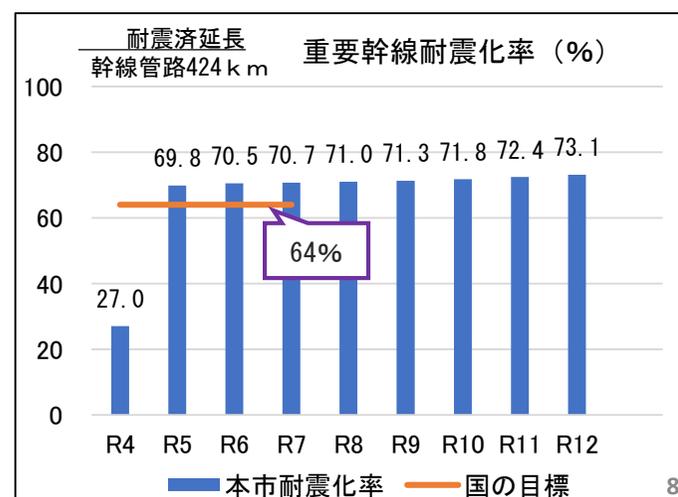
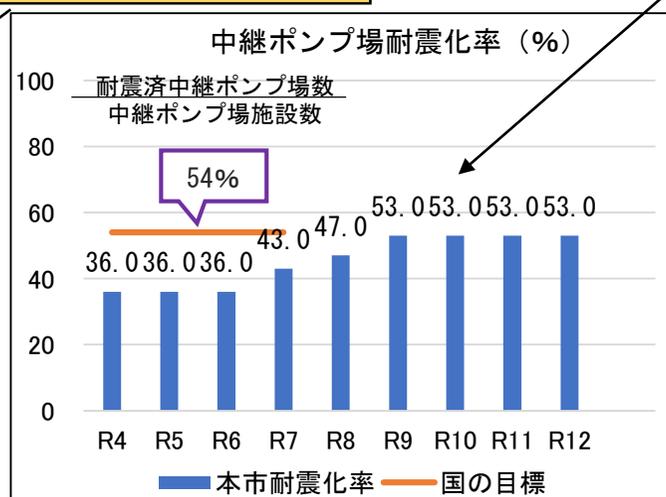
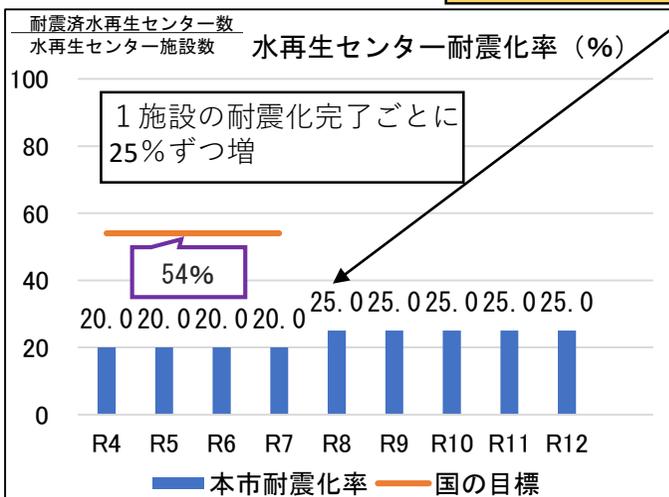
総合治水・雨水対策事業（雨水貯留施設基本設計など）

雨水貯留施設の設置促進事業（【拡】補助対象として新たに浸透性舗装を追加）

公共下水道雨水幹線整備事業（調整池築造工事など）

※R3~R12にかけての耐震化計画で示した値。
前倒して実施できるよう検討中

※ 施設数が減ったことによる5%の増



III 下水道事業会計の予算（案）概要

○ 主な実施事業

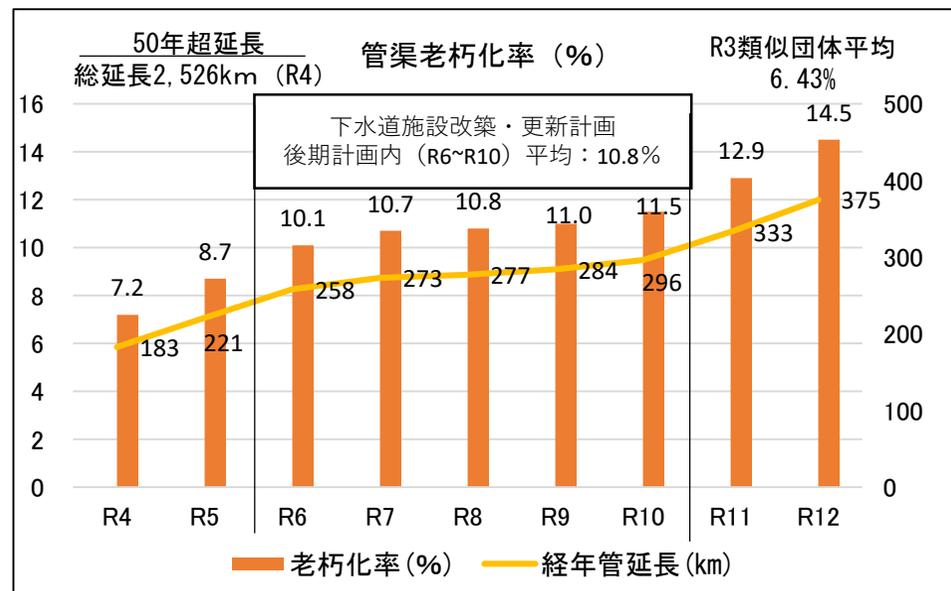
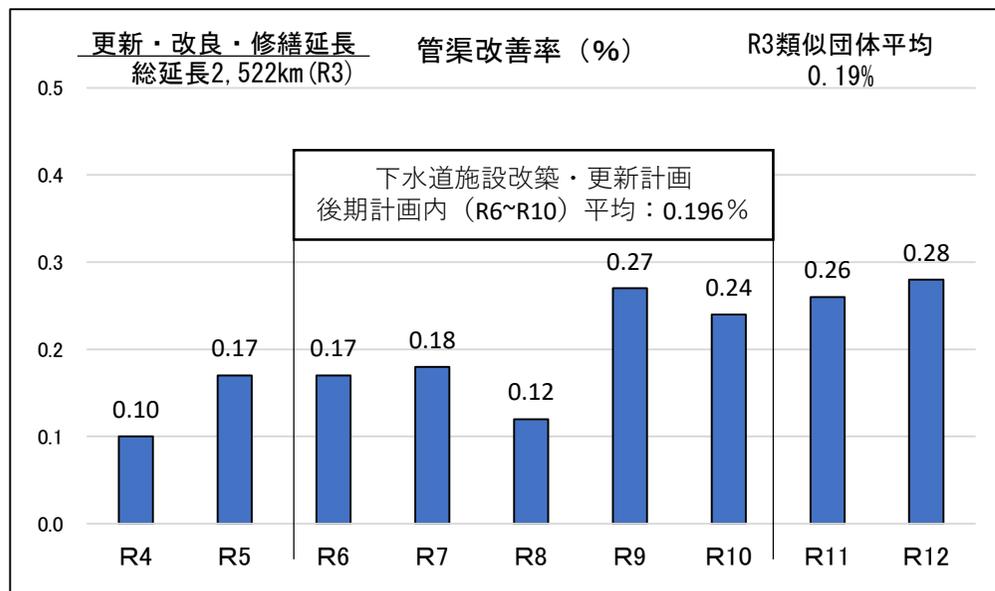
◆ 老朽化対策 1, 818百万円（前年度2, 388百万円）

- ・「宇都宮市下水道施設改築・更新計画」に基づき、持続可能な下水道事業を実現するため、老朽化が進行している下水道施設の計画的な改築・更新を推進する。
- ・将来の更新ピークに備え、事業の平準化などを検討しながら推進する。
- ・また、下河原水再生センターの老朽化を踏まえ、更新経費の縮減や処理の効率化を図るため、中継ポンプ場としての再構築に取り組む。

○ 施設更新事業 1, 011百万円

下河原水再生センター再構築事業（第1期）など

○ 下水道管改築事業 807百万円 《管渠改善率：R4 0.10%⇒R5 0.17%》



III 下水道事業会計の予算（案）概要

○ 主な実施事業

◆ DX関連 5百万円（前年度0円）

取り巻く環境の変化を捉えながらICTを活用した利便性の高いサービスの導入等お客様ニーズを的確に反映した事業を展開するほか、民間活力の導入を検討し、効果的・効率的な経営に取り組む。

【再掲】○ ICT事業 5百万円 業務効率化(【新】印刷機器、電子機器の複合機化など)
(【拡】ネット銀行を収納取扱金融機関として指定)

◆ カーボンニュートラル関連 75百万円（前年度0円）

再生可能エネルギー及び上下水道資源の有効活用や節電など、環境に配慮した取組を行い、環境負荷低減を推進する。

- 省エネ事業 53百万円 【新】施設のLED化など
- 創エネ事業 22百万円 【新】消化ガス発電設備導入可能性調査

◆ 【再掲】外部委託関連 455百万円（前年度329百万円）※水道事業にまとめて計上

外部委託など事業者と連携した効率的な事業運営に取り組み、計画的に財源を確保しながら持続可能な経営を推進する。

- 検針・徴収等包括委託 391百万円(【拡】包括委託の導入効果 R5~9 △59百万円)
- 新料金システム構築業務委託 64百万円(【拡】新料金システム導入効果 R5~9 △31百万円)

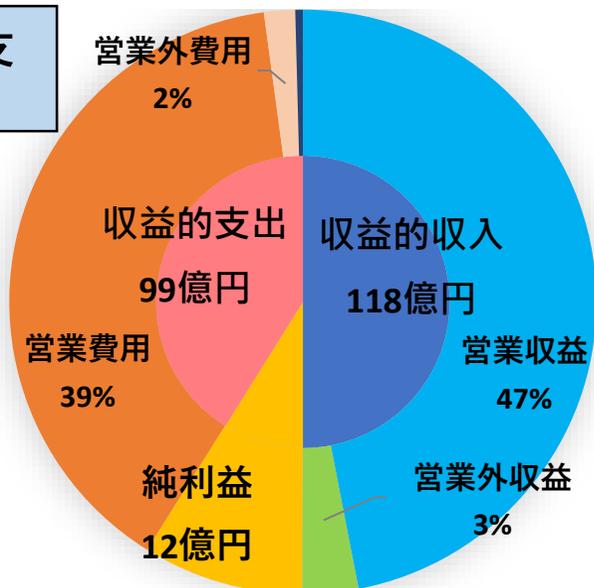
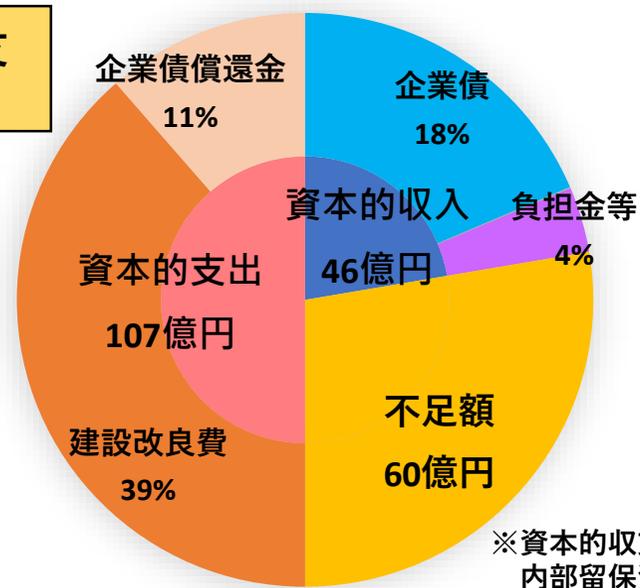
IV 収支予定額

○ 収支予定額【水道事業会計】

(単位 千円)

区分		令和5年度	令和4年度	増減	増減率	
水道事業会計	収益的収支 (施設の維持管理に要する経費と財源)	収入額	11,865,399	11,959,627	△94,228	△0.8%
		支出額	9,929,475	9,635,678	293,797	3.0%
		差引額	1,935,924	2,323,949		
水道事業会計	資本的収支 (建設や更新に要する経費と財源)	収入額	4,688,348	3,579,165	1,109,183	31.0%
		支出額	10,730,219	10,529,426	200,793	1.9%
		差引額	△6,041,871	△6,950,261		

純利益12億4,565万円(令和4年度:16億4,376万円) ※純利益=差引額-消費税及び地方消費税資本的収支調整額
 内部留保資金残高38億円(令和4年度37億円) ※減価償却費などの計上により企業内部に留保される資金

収益的収支の内訳

資本的収支の内訳


※資本的収支不足額は、内部留保資金で補てん

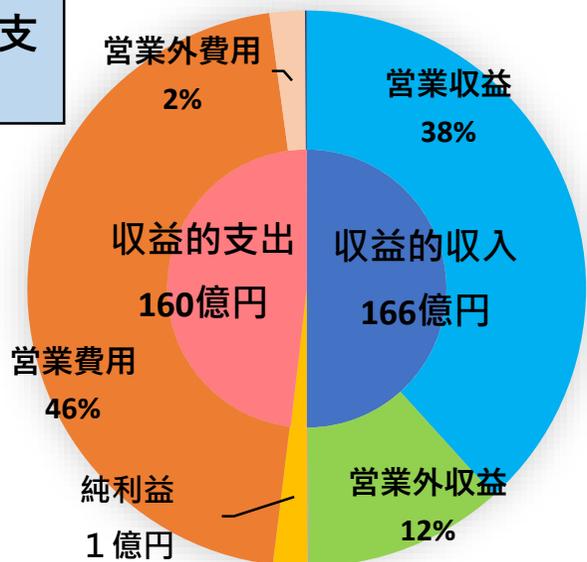
IV 収支予定額

○ 収支予定額【下水道事業会計】

(単位 千円)

区 分		令和5年度	令和4年度	増減	増減率	
下水道事業会計	収益的収支 (施設の維持管理に要する経費と財源)	収入額	16,622,837	15,599,488	1,023,349	6.6%
		支出額	16,011,721	15,045,542	966,179	6.4%
		差引額	611,116	553,946		
	資本的収支 (建設や更新に要する経費と財源)	収入額	7,379,121	7,410,799	△31,678	△0.4%
		支出額	12,364,824	12,326,979	37,845	0.3%
		差引額	△4,985,703	△4,916,180		

純利益 1億580万円 (令和4年度: 1億3,631万円) ※純利益 = 差引額 - 消費税及び地方消費税資本的収支調整額
 内部留保資金残高 0億円 (令和4年度 0億円) ※減価償却費などの計上により企業内部に留保される資金

収益的収支の内訳

資本的収支の内訳
